

2026年度入学者 一般選抜（一般Ⅱ期）【現代の国語・言語文化】

【出題の意図】

「一」〈出典〉黒川 伊保子 著 『日本語はなぜ美しいのか』より

「第六章 ことばの本質とは何か」抜粋（中略あり）

2007年1月22日 集英社 発行 引用範囲 P.106～P.113

- ・ 基本的な漢字の書き取りが正確にできるか。
- ・ 空欄部に入る適当な語句を選択肢から正しく選ぶことができるか。
- ・ 傍線部の重要語句に着目し、慣用句の意味を正しく選択することができるか。
- ・ 傍線部に関連する理由を選択したり、適切な語句を抜き出したりすることができるか。
- ・ 設問を正しく捉え、規定の字数で正確に抜き出すことができるか。
- ・ 文章の内容と合致している文と誤っている文とを区別して見分けることができるか。

「二」〈出典〉松沢 哲郎 著 『チンパンジーの心』より

「道具の使用」ほぼ全文

2000年7月14日 岩波書店 発行 引用範囲 p.26～p.34

- ・ 基本的な漢字の読み方が正確にできるか。
- ・ 文章中から設問に応じて適語を選択することができるか。
- ・ 動物の生態を調査・研究した記録文であるため、調査の目的や方法、結果や考察などが興味深く書かれているので、正確に読み取ることができるかを試した。
- ・ 文章構成について、実験後の考察に至るプロセスを試す問題も出題した。
- ・ 接続詞を深く理解し、前後関係から予測する力を試した。
- ・ 出題文の要旨となる内容を規定の字数で簡潔に説明する文章力を問う問題を出題した。

「三」 故事成語の一部分を空欄にして、適当な語句を後の語群から選択して成語を完成させる問題では、成語と意味が十分なヒントになるので、それを基に関連する語句を選ぶことができるかを試した。

二〇二六年度入学者 聖霊女子短期大学 一般選抜（一般Ⅱ期）試験問題

【現代の国語・言語文化】 ※解答は、全て解答用紙に記入すること。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分につきましては

著作権の都合により公開できません。

問一 ― 線部 a、e のカタカナ部分を漢字に直して答えよ。

a	ハセイ	b	シヨサ	c	モウラ	d	ナンカイ	e	クシ
---	-----	---	-----	---	-----	---	------	---	----

問二 ☐ A、C に入る適当な語句を、あとから一つずつ選び記号で答えよ。

ア	心に癒やしを与える柔らかい感覚	イ	尖った痛み
ウ	氷やガラスのような硬質な物体	エ	研ぎ澄まされた鋭い感覚
オ	耳をつんざくような高音		

問三 ― 線部①「腑に落ちる」の語句の意味は次のどれか。適当なものを一つ選び記号で答えよ。

ア	強く反対する	イ	憧れを抱く	ウ	納得する	エ	合点がいかない	オ	疑問に思う
---	--------	---	-------	---	------	---	---------	---	-------

問四 ☐ D、F に入る適当な擬音語や擬態語をあとから一つずつ選び記号で答えよ。

ア	くるくる	イ	きらきら	ウ	しくしく	エ	わくわく	オ	さらさら
---	------	---	------	---	------	---	------	---	------

問五 ☐ G に入る適当な語句をあとから一つ選び記号で答えよ。

ア	亡くなった人を弔う土の塊があちこちに見られる墓地の風景
イ	子どもが庭で土の塊を掘り出して遊んでいるのどかな風景
ウ	土の塊があちに一つ、こっちに一つと点在している風景
エ	動物の掘り出した大きな土の山があちこちに見られる風景
オ	大きなもっこりした土の塊が点々と落ちている風景

問六 ― 線部②「日本に着いたばかりのフランス人が、成田で日本語のアナウンスを聞いたとき、機関銃の連射だと思って伏せそうになった」とあるが、それはなぜか。その理由を文章中から三十字以内で抜き出して答えよ。

問七 日本人は、英語が不得意だと言われるが、外国に滞在してしばらくすると、その国のことばを聴き取れるようになるのはなぜか。その理由を文章中から四五字以内で抜き出して答えよ。

問八 ― 線部③「日本人の識字率が高い」のはなぜか。その理由を文章中から四〇字以内で抜き出して答えよ。

問九 本文の内容に合致するものを、次の1～5の中から二つ選び番号で答えよ。

- 1 音韻も発音感もことばの構成上重要で、昔から顕在意識で認識されていた。
- 2 日本では、発音感と意識などが一致していて、誰もが共通のイメージをもつことができる。
- 3 日本語と中国語を比較すると、聴き取ればある程度意味を理解できるという点で共通している。
- 4 日本語は大昔から、多くの民族の変遷や音韻転換によって、実用的に変化してきた。
- 5 アルファベットが世界に普及したのは、発音感の最小単位であり、真のグローバルデザインであるからだ。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分につきましては

著作権の都合により公開できません。

この部分につきましては
著作権の都合により公開できません。

問一 ―― 線部 a ㄣ e の漢字に読み仮名を付けよ。
a 胚 b 殻 c 叩き d 藪 e 痕跡

問二 A ㄣ F に入る適当な語句を、あとから一つずつ選び記号で答えよ。
ア 大きい イ 小さい ウ ハンマー エ 台石 オ 推測 カ 断定

問三 筆者は、この調査や実験をどんな目的で行ったのか。それが書かれている部分を探し、初めと終わりのそれぞれ五字を答えよ。
(完答)

問四 ―― 線部①「野外実験を試みた」とあるが、石に番号をふって調査することを漢字四文字で何というか答えよ。

問五 「第一の実験」を行ってわかったことは何か。次から二つ選び記号で答えよ。

- ア ハンマーと台石のセットが、今回の調査でも使われたことがわかった。
- イ ハンマーと台石のセットが、以前使われたセットとはまったく無関係であることがわかった。
- ウ ハンマーと台石と役割が決まっていると仮定していたが、決まった役割はないことがわかった。
- エ ハンマーのほうが台石よりも大きいことがわかった。
- オ 実際に台石とハンマーに使われた石の役割には、一定の規則性があることがわかった。

問六 「第二の実験」でわかったことは何か。文章中から三二字で抜き出して答えよ。

問七 「第三の実験」について。

- (1) どんな場所で実験を行ったか、十四字で答えよ。

(2) —— 線部②「ハンマーと台石があつて、それでヤシの実を割ってくれるだろうと思つていた」と筆者は予想した。その後に三つの文が入るが空欄にしている。次に示す①～③の文がどんな順序で構成されると文意が通じるか、答えよ。(完答)

① たぶんそこには二人以上のチンパンジーが来て、石を見つけたそれぞれが一個ずつ石を持っていって、倒木を台にして割つたのである。

② 調べてみると、その石が二つともハンマーに使われて、木を台としてヤシの実が割られていた。

③ その二カ所の割りあとを丹念に調べてみると、両方とも倒木の上の白い斑点の部分の部分を台にして割っている。

- (3) —— 線部③「重要なことに気がついた」とあるが、佐倉さんが気づいた重要なこととは何か。五二字以内で説明せよ。

問八 G・Hに入る接続語を、次から一つ選び記号で答えよ。

- ア しかし イ だから ウ 例えば エ さらに オ つまり

問九 —— 線部④「白い硬い部分」を漢字二文字で何というか。文章中から見つけ答えよ。

三 次の空欄を補うのに最も適当なものを、下のア～コの中から一つずつ選び、記号で答え、成語を完成させよ。

① 塞翁が
(人間の運命の計り知れないこと)

② 三顧の
(人に仕事を頼むために礼儀を尽くすこと)

③ 焦眉の
(差し迫った危難急務)

④ 螭螂の
(自分の力を顧みず強敵に立ち向かうこと)

⑤ 他山の
(自分の修養に役立つ他人の言動)

⑥ 合の衆
(規律も統一もない大勢の寄り集まり)

⑦ 夫の利
(他人の争いに乗じて利益を収めること)

⑧ 嶺の花
(眺めるだけで手に取ることのできないもの)

⑨ 天の霹靂
(突然起こった異変、または大事件)

⑩ 牙の塔
(俗世を逃れ学問の世界に浸ろうとする境地)

ア 象

イ 烏

ウ 高

エ 斧

オ 急

カ 青

キ 漁

ク 馬

ケ 石

コ 礼

●現代の国語・言語文化 〈配点100点〉

〔一〕 41点

問一 a 派生 b 所作 c 網羅 d 難解 e 駆使

(2点×5)

問二 A イ B オ C ウ

(2点×3)

問三 ウ

(2点)

問四 D ア E ウ F オ

(2点×3)

問五 オ

(2点)

問六 「ちゃんと拍を拾ったために機関銃の連打のように聞こえたから。」

(3点)

〔別解・私たちは、規則正しい太鼓の連打のようにはしゃべっているか。〕

問七 「会話のリズムの規則性を脳が覚えて、その国の音韻単位で、相手の

(3点)

音声を認識できるようになるから。」

問八 「幼い頃に、まず音韻と一致したカナ文字によって、気軽に文字に親しめるから。」(3点)

問九 2・5

(3点×2)

〔二〕 49点

問一 a はい b から c たた(き) d やぶ e こんせき

(2点×5)

問二 A イ B ア C オ D エ E ウ F カ

(2点×6)

問三 (初め) 飼育下のチー (終わり) ているのか

(完答3点)

問四 個体識別

(2点)

問五 イ・ウ

(2点×2)

問六 ヤシの実割りがひじょうに柔軟性のあるものとして獲得されていること。

(3点)

問七 (1) アニンゲリアの倒木のある広場

(3点)

(2) ②・①・③

(完答3点)

(3) 木の表面の白い斑点の部分は石化して硬くなっているため、ヤシの実を

(3点)

うまく割ることができる事を知っていたこと。

問八 G オ H エ

(2点×2)

問九 石化

(2点)

〔三〕 10点

① ク ② コ ③ オ ④ エ ⑤ ケ

(1点×10)

⑥ イ ⑦ キ ⑧ ウ ⑨ カ ⑩ ア